

国立市議会議長 青木 健 様

国立市における応急給水拠点は、東京都水道局のホームページで確認すると国立中給水所及び谷保給水所であるが、どちらも PFAS の高濃度検出で現在取水を停止している浄水施設であり、災害発生時は PFAS で高濃度に汚染された水が応急給水拠点から配給されるという事なのか確認を求めるとともに、なぜ多摩地域の浄水施設から PFAS の高濃度汚染が検出されているのか、汚染原因・汚染源特定に向け、スピード感を持って原因追及するよう東京都に意見書の提出を求める事に関する陳情

陳情の趣旨

水はあらゆる生命の命の源である。

災害発生時には、安心安全な水の存在が生きるために必要不可欠である。

東京新聞 2023 年 1 月 3 日付 1 面記事にて、「多摩の井戸水 汚染広範囲に」という見出しにて、東京都多摩地域の井戸水から発がん性が疑われる有機フッ素化合物 (PFAS) が検出された問題で、汚染によって取水停止の井戸が拡大したことが分かり、大きな衝撃を受けるとともに、自身が住む多摩地域の水源が PFAS で汚染されている現実に変に大変悲しい気持ちになった。

PFAS は「永遠の化学物質」と呼ばれ、暴露すると体内に長年とどまり続け、がんや心疾患による死亡リスク上昇、出生体重が減少する恐れが指摘されており、国際的に使用禁止や規制が進んでいる。汚染原因を 1 日も早く突き止め、対策を講じる必要がある。汚染原因がわからなければ、対策の講じようもないので、東京都はスピード感を持って汚染源特定に動いてほしい。

国立市における応急給水拠点は、東京都水道局のホームページで確認すると

国立中給水所及び谷保給水所であるが、どちらも PFAS の高濃度検出で現在取水を停止している浄水施設であり、災害発生時は PFAS で高濃度に汚染された水が応急給水拠点から配給されるという事なのか確認を東京都に求める。

## 陳情事項

以下の陳情事項で、国立市議会より意見書の提出を求めます。

1, 多摩地域の井戸水で、広範囲にわたって有機フッ素化合物 (PFAS) が検出されていますが、東京都においては、スピード感を持って、1日も早く汚染原因・汚染源を特定してください。

2, 国立市における応急給水拠点は、東京都水道局のホームページで確認すると国立中給水所及び谷保給水所であるが、どちらも PFAS の検出で現在取水を停止している浄水施設であり、災害発生時は PFAS で高濃度に汚染された水が配給されるという事なのか、確認を求める。